



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7957 URL <http://www.fujicopian.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)赤城 貫太郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 常務執行役員 (氏名)近藤 喜章 (TEL)06(6471)7071
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	5,293	1.7	452	30.8	457	73.4	341	71.2
22年12月期第2四半期	5,385	33.6	345		263		199	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	21 11	
22年12月期第2四半期	12 23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	17,478	8,726	49.9	539 66
22年12月期	15,870	8,438	53.2	521 80

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 8,726百万円 22年12月期 8,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期		0 00		4 00	4 00
23年12月期		0 00			
23年12月期(予想)				4 00	4 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	1.9	550	4.5	550	47.8	400	62.4	24 74

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 社 ()、除外 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 2 Q	17,894,877株	22年12月期	17,894,877株
23年12月期 2 Q	1,724,537株	22年12月期	1,723,586株
23年12月期 2 Q	16,170,822株	22年12月期 2 Q	16,300,577株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気の落ち込みからいち早く復活した中国をはじめとするアジア諸国の活発な経済活動に支えられ、自動車・電機・工作機械など輸出企業を中心とする企業収益の改善が進みました。しかしながら、平成23年3月11日東北地方を中心として東日本全体に大きな損害をもたらした東日本大震災とその後の福島第1原子力発電所事故により、経済活動全体が急激に停滞する大きな影響を受けました。震災からの復興活動は開始されたものの原子力発電所事故の収束にはまだ時間を要する見込みで、経済活動の回復は不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当グループは新たな商品分野として取り組んでまいりました機能性フィルムおよび主力製品であるバーコード用リボン、修正テープなどの拡販活動を進めるとともに、原材料を確保して安定した生産に努めること、ならびに原材料コストアップを吸収するための収益改善活動を進めることに注力してまいりました。

生産面におきましては、サプライチェーンの問題などから主要原材料の調達難および価格高騰という厳しい状況に直面しましたが、スピードとアクションを基本とした生産革新活動を通じて、徹底した効率化を推進し収益の確保に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、52億9千3百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は4億5千2百万円(前年同期比30.8%増)、経常利益は4億5千7百万円(前年同期比73.4%増)となりました。

四半期純利益は投資有価証券の売却益の計上、関係会社清算にともなう投資資金の回収益の計上の一方、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額と法人税等の計上はありましたが、3億4千1百万円(前年同期比71.2%増)となりました。

品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

サーマルトランスファーマEDIAは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めたものの、震災にともなう市場環境の変化により、全体では21億4千5百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動と景気回復による需要増などにより、全体では8億6千9百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

テープ類は、国内外で景気回復による需要の改善はあったものの、震災の影響などにより全体では9億9千万円(前年同期比2.8%減)となりました。

機能性フィルムは、国内外で新たな性能を持つ新製品の拡販など営業活動に努めた結果、全体では6億4千9百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

その他は、全体では6億3千7百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、174億7千8百万円(前連結会計年度末比10.1%増)と、前連結会計年度末に比べ16億8百万円の増加となりました。これは、主に借入の実行による現金及び預金の増加などによるものであります。

負債は、87億5千2百万円(前連結会計年度末比17.8%増)と、前連結会計年度末に比べ13億1千9百万円の増加となりました。これは、主に金融機関より長期借入の実行をしたことなどによるものであります。

純資産は、87億2千6百万円(前連結会計年度末比3.4%増)と、前連結会計年度末に比べ2億8千8百万円の増加となりました。これは、主に四半期純利益の計上などによるものであります。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の内部留保の一方でたな卸資産の増加などがあり1億7百万円の収入となり、前年同期比では3億7千6百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社の清算による収入の一方で有形固定資産の取得などがあり2百万円の支出となり、前年同期比では9千5百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入による資金調達などにより10億6千6百万円の収入となり、前年同期比では3億6千3百万円の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、期首残高に比べ11億7千6百万円増加し、57億5千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の業績予想につきましては、第2四半期の業績および今後の経済状況をふまえ、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は9,144千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は14,047千円であります。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号)にもとづく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,863,502	4,687,428
受取手形及び売掛金	3,096,280	3,306,367
有価証券	100,030	150,159
商品及び製品	706,781	653,043
仕掛品	547,886	464,664
原材料及び貯蔵品	777,702	409,635
その他	163,297	105,115
貸倒引当金	3,129	7,070
流動資産合計	11,252,351	9,769,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,483,692	1,522,639
機械装置及び運搬具(純額)	1,381,089	1,436,581
土地	1,681,745	1,681,745
建設仮勘定	395,658	37,353
その他(純額)	172,768	163,919
有形固定資産合計	5,114,955	4,842,239
無形固定資産	1,203	1,412
投資その他の資産		
投資有価証券	741,926	755,241
その他	368,397	502,269
貸倒引当金	100	100
投資その他の資産合計	1,110,223	1,257,410
固定資産合計	6,226,383	6,101,063
資産合計	17,478,734	15,870,406

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,636,009	1,981,308
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	761,511	1,017,409
未払法人税等	164,342	23,411
未払消費税等	5,861	17,787
設備関係支払手形	325,444	86,658
その他	462,954	318,763
流動負債合計	3,456,123	3,445,339
固定負債		
長期借入金	4,421,100	3,128,000
退職給付引当金	683,475	678,586
役員退職慰労引当金	71,995	86,066
その他	119,500	94,257
固定負債合計	5,296,072	3,986,910
負債合計	8,752,196	7,432,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,945	2,995,945
利益剰余金	1,301,712	1,025,077
自己株式	275,301	275,190
株主資本合計	8,814,152	8,537,629
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89,358	90,772
為替換算調整勘定	176,972	190,245
評価・換算差額等合計	87,613	99,472
純資産合計	8,726,538	8,438,156
負債純資産合計	17,478,734	15,870,406

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,385,324	5,293,342
売上原価	3,926,171	3,833,417
売上総利益	1,459,152	1,459,924
販売費及び一般管理費	1,113,556	1,007,718
営業利益	345,596	452,205
営業外収益		
受取利息	7,987	4,918
受取配当金	10,681	10,838
為替差益	-	9,109
雑収入	18,460	19,266
営業外収益合計	37,129	44,132
営業外費用		
支払利息	36,942	37,332
為替差損	71,708	-
雑損失	10,092	1,185
営業外費用合計	118,742	38,517
経常利益	263,982	457,819
特別利益		
投資有価証券売却益	-	20,358
関係会社清算益	-	29,532
補助金収入	30,000	-
特別利益合計	30,000	49,890
特別損失		
固定資産圧縮損	30,000	-
投資有価証券評価損	40,138	-
減損損失	10,330	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	8,811
特別損失合計	80,469	8,811
税金等調整前四半期純利益	213,513	498,899
法人税等	14,163	157,578
少数株主損益調整前四半期純利益	-	341,320
四半期純利益	199,349	341,320

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	213,513	498,899
減価償却費	291,241	229,509
減損損失	10,330	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,516	4,873
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,079	14,070
受取利息及び受取配当金	18,668	15,756
支払利息	36,942	37,332
補助金収入	30,000	-
固定資産圧縮損	30,000	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	8,811
投資有価証券売却損益(は益)	-	20,358
投資有価証券評価損益(は益)	40,138	-
関係会社清算損益(は益)	-	29,532
売上債権の増減額(は増加)	379,678	215,473
たな卸資産の増減額(は増加)	34,628	494,322
仕入債務の増減額(は減少)	51,165	350,566
未払又は未収消費税等の増減額	31,946	11,925
その他	255,392	84,445
小計	508,133	142,812
利息及び配当金の受取額	18,668	15,756
利息の支払額	36,942	37,332
法人税等の支払額	5,384	13,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	484,474	107,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	-	50,000
有形固定資産の取得による支出	168,970	229,253
投資有価証券の取得による支出	2,900	2,993
投資有価証券の売却による収入	250	38,860
貸付けによる支出	394	-
貸付金の回収による収入	2,915	1,641
関係会社の清算による収入	-	146,540
補助金の受取による収入	30,000	-
その他	41,392	7,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,708	2,293

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	100,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	308,798	562,798
リース債務の返済による支出	4,441	6,176
自己株式の取得による支出	18,975	111
配当金の支払額	64,988	64,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	702,796	1,066,728
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	9,032	3,950
現金及び現金同等物の期首残高	1,080,530	1,176,161
現金及び現金同等物の期首残高	3,550,144	4,577,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,630,675	5,753,540

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

当グループは、インク製造技術、塗布技術を技術基盤とする各種情報機器用の印字記録媒体からなる単一セグメンテーションで事業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	日本 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,796,276	589,047	5,385,324		5,385,324
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	462,077	14,131	476,208	(476,208)	
計	5,258,353	603,178	5,861,532	(476,208)	5,385,324
営業利益	349,741	1,254	350,995	(5,399)	345,596

(注) 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

- (1) 国または地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国または地域.....その他：中国、欧州、米国

海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	アジア	欧州	その他	計
海外売上高(千円)	879,992	407,343	296,735	1,584,072
連結売上高(千円)				5,385,324
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.3	7.6	5.5	29.4

(注) 1 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

- (1) 国または地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国または地域.....アジア：中国他
欧州：英国他
その他：米国他

【セグメント情報】

当グループは、インク製造技術、塗布技術を技術基盤とする各種情報機器用の印字記録媒体からなる単一セグメンテーションで事業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。